

一般質問通告表

平成28年第4回始良市議会定例会（11月29日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 森川 和美	<p>1. 中学校の制服と小・中学校の学校集金について</p> <p>2. 119番救急搬送について</p>	<p>中学校の制服を必要だと思う人も不要だと思う人も制服の価格は高いと考えていることを朝日新聞デジタルアンケート調査で知った。また、小・中学校の学校集金についての特集もあった。本市の市民からも入学時に多額の出費が大変だと聞く。</p> <p>(1) 本市の中学生の制服及び入学時において、おおよそいくらぐらいかかるか。また、各学校において、どれぐらいの差があるのか。</p> <p>(2) 制服以外の学校関連支出について、給食費、PTA会費、修学旅行費、副教材費等の年間集金額はどれぐらいか。</p> <p>(3) 小学校の6年間の学校集金額はどれぐらいか。</p> <p>(4) 集めたお金は、どのように管理されているのか。</p> <p>(5) 憲法第26条には、義務教育を無償とするとしている。給食費、就学旅行費を公費負担する考えはないか。</p> <p>(6) 学校集金の必要性、積算根拠、使い道についてどのように説明されているか。</p> <p>(7) 小・中学校の制服を男女共ジャージに統一する考えはないか。価格も安価になるのではないか。</p> <p>高齢者の増加等によって、年々、全国的に救急医療の需要は高まっており、必要な人に適切な医療サービスが届く環境づくりが求められている。</p> <p>近年、救急車の年間出動件数は過去最高を更新し続け、2014年は約598</p>	<p>教育委員長 市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>万件に上る。気掛かりなのは、患者の搬送時間が伸びていると報じられていることである。</p> <p>また、一方で、出動した救急隊が誰も運ばずに引き返す「不搬送」が、2014年までの10年間に約5割増えたとされている。不搬送の理由は、「家族らが通報したが、搬送を拒む」が32%で最も多く、隊員が応急処置をして医療機関に搬送しない「現場処置」が18%、「けが人や病人がいなかった例や誤報・いたずら」は11%となっている。</p> <p>(1) 本市の実態はどのようになっているか。</p> <p>(2) 通報前対策について、今後力を入れるべきではないか。東京都や大阪府、福岡県、札幌市等は、救急車を呼ぶ前に相談できる「#7119」という電話相談体勢を行っている。</p>	
2. 堂森 忠夫	1. 始良市の農業について	<p>(1) 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)が法制化した場合、始良市の農業は、どのような影響を受けるか問う。</p> <p>(2) 始良市の農業活性化には、今後、認定農業者や6次産業分野の育成が重要であるが、育成のために地産地販などの促進対策として、補助金の幅を広げて農産物関連事業の活性化を図れないか。</p> <p>(3) 加治木地区の「ふれあい物産館」などでは、全国的に有名になったキャロット製品を販売しているが、高齢化で出張販売やにんじんの生産者が激減している状態である。</p> <p>始良市の特産品として根付いたキャロット製品を持続継承するための対策を図れないか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 学校給食について	<p>また、栄養士や保健師などと市職員の体験研修として人参づくりや販売研修に取り組みないか問う。</p> <p>(1) 学校給食は、地産地消化を推進することにより、市内の雇用と内需拡大につながると思うが、現在の給食用の米とパンや野菜類の市内産は、どれぐらい使用されているのか。</p> <p>また、時代の変化に対応した学校給食の活性化や、今後、地産地消拡大を図るための対策を検討しているのか。</p> <p>(2) 学校給食施設の整備費に充てる国の交付金について、19市町村が会計検査院から算定方法の誤りを指摘され、返還を求められているが、本市の返還額と今後の対応策を問う。</p>	市 長 教育委員長
	3. 教員の長時間労働と教育環境について	<p>(1) 民間企業の労働環境は、残業ゼロを目指してさまざまな対策を打ち出し、国も後押ししているが、小学校教職員の現場は長時間労働が多いのではないか。実態調査をしたことがあるのか問う。</p> <p>(2) 社会が多様化しているなか、小学校の教育現場において担任の先生だけでは一般児童の教育指導に無理な分野があるのではないか。</p> <p>中学校と同様に副担任や専門的な先生を配置できる体制づくりに努められないか問う。</p> <p>(3) 小規模校区の教育環境や少子化対策等を考慮し、特認校指定の児童通学世帯や移住世帯には、特別手当を支給して特認校の児童増を図れないか。</p>	市 長 教育委員長
	4. 伝統芸能文化継承について	<p>(1) 蒲生・加治木地区では、伝統芸能等の文化継承に取り組みながら教育現場でも活かされている。始良地区では、</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>そのような活動への支援策が弱いとの声を聞くが、行政として地域づくりや校区コミュニティ活性化策の一環として、伝統芸能等の文化継承活動の支援・指導を図れないか。</p> <p>(2) 島津義弘公没後400年祭に向けて、色々と整備計画が進んでいるが、加治木護国神社前の交差点では、毎年、この場所で義弘公文化の代表的な踊りである、加治木地区太鼓踊りが開催されている。1団体30名位が丸い輪になって庭踊りを踊るが、交差点が狭くて踊りにくい状態である。</p> <p>現在、交差点に面した護国神社の石垣部分を改良して、歩道の拡幅が事業化されつつあるが、この際、今後の伝統芸能継承を鑑み、太鼓踊り場を拡げ、観覧席確保のため、護国神社側と交渉し、交差点に面した土地を広く市有地として購入し、市道の拡幅を施せないか問う。</p>	
3. 吉村 賢一	1. 市営住宅の現状と将来計画について	<p>鹿児島県町村議会議長会28年3月の行財政諸資料によると、市の公営住宅等は1,416戸であるが現状の課題と今後の計画を以下に問う。</p> <p>(1) 契約条例の順守や管理の徹底をしているのか。例えば、猫のエサやり。</p> <p>また、部屋が荷物置き場になっており、本人はほとんど他に居住しているケースを聞くが、どのように対処しているか。</p> <p>(2) 維持管理費は25年度実績では1億3,434万円であるが実際これだけで足りているのか。</p> <p>(3) 民間住宅を借りて賃貸差額を補てんすることは検討できないか。</p> <p>(4) 現在空きが多い住宅は場所による</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 青少年就業サポートの在り方</p>	<p>のか、他に風呂釜を用意するのも敬遠される要因になっていないか。</p> <p>(5) 岩原、高井田、田中など古い住宅の建替え計画は いつ頃のあたりに、数量的にはどの位（適正な規模）を想定しているか。</p> <p>(6) この時、需要と供給をどうバランスを取ろうとしているか。</p> <p>(7) 今後の定住促進住宅はどのように進めるべきか。</p> <p>(8) 高齢者に配慮した住宅になっているのか。</p> <p>(9) 既存の公営住宅居住者の苦情・意見を反映して次の建築計画ができているか。</p> <p>(10) 特に加治木には老朽化が進んだ住宅が多い。公園の少ない箇所についてはそのように転換したり、グランドゴルフ広場が求められている箇所ではそのように利活用を図るべきで、その他は払下げになると思うがどうか。</p> <p>小・中学校の義務教育段階で登校拒否、引きこもりが多数ある。現在の市のシステムでは卒業後のフォローは全くできない状況にある。一義的には親が責任を負うものだが、それは貧困が原因のケースが多いと言われる。</p> <p>在学中及び卒業後のフォローを行政ができることは手助けすべきであろう。そのような観点から以下質問する。</p> <p>(1) 現在の小・中学校教育で不登校生徒に対して成果が上がっている事例を述べよ。</p> <p>(2) この取組みは複数の課で連携して行っているのか。</p> <p>(3) 復帰に至らず中学校を卒業した児童に対して行政ができることは何か。</p> <p>(4) 先般、研修で島根県浜田市の青少</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>年サポートセンターを訪ねた。40歳までを目途に若者育成支援を行っており、修学・就業の相談を積極的に受けている。結果、親の庇護から自立し生活保護も受けず社会に貢献する若者を増やすことに繋がる。全ての子ども・若者が円滑な社会生活に受け入れるように始良市もこのような体制を組めないか問う。</p>	
4. 萩原 哲郎	1. 鹿児島マラソン大会・総合運動公園整備等について	<p>平成29年3月5日(日)に、第2回鹿児島マラソン大会が開催される。大会は、フルマラソンとファンラン8.9kmがある。第1回大会は、マラソン定員1万人に対して抽選倍率は1.54倍であったが、第2回は抽選倍率1.62倍と、年々抽選倍率が高くなり、参加しにくくなりつつある。始良市民の参加者も多く、大会への関心も高いものと考えられる。</p> <p>参加希望者を始め、老若男女多くの市民が、総合運動公園をテニス、ウォーキング、ジョギング等、健康管理に朝から夜遅くまで利用されている。早朝、夜間の利用については、照明等の関係で安全性が懸念される場所である。</p> <p>鹿児島市中山の鹿児島ふれあいスポーツランドには、サッカー・ラグビー場に夜間照明・シャワー施設の整った公園がある。</p> <p>鹿児島マラソン大会に関して、始良市としての対応を聞く。</p> <p>(1) 鹿児島マラソン大会には始良市としてどのような協力を行っているのか。</p> <p>(2) 第1回大会の出走者計は9,803名で、完走者9,205名、完走率約94%であった。</p>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 始良ニュータウン、サボーランドパーク始良と市内の鳥獣被害対策について</p>	<p>始良市からは、マラソン部・ファンラン部に何名参加で、完走者は何名であったのか。</p> <p>(3) 年々参加者が増え、抽選倍率が上り、参加が段々厳しい状況になりつつある。</p> <p>始良市は、協力市として市民枠を設けていただく相談はできないか。</p> <p>(4) 総合運動公園は、何を行う場所か。</p> <p>(5) 前回の市長答弁で、「夜間は他の場所での利用をお願いします。」と答弁されたが、どこか。</p> <p>(6) 鹿児島市中山の鹿児島ふれあいスポーツランドのサッカー・ラグビー場に夜間照明・シャワー施設の整った公園があり、昼夜問わず多くの方々が、安心安全な場所を求めて健康管理に励んでおられる。</p> <p>市総合運動公園を、始良市民が仕事を終えてから、安心安全な場所で健康管理に励めるような施設に改善はできないか。</p> <p>サボーランドパーク始良西側が、今年の豪雨で土手が崩落した場所もきれいに整備され、利用されている方々に喜ばれている。</p> <p>今回は早い対処で有り難いことだが、材料が足らなかったのか、少し完成に満たない部分がある。</p> <p>近年、始良ニュータウンやサボーランドパーク始良は、アナグマの糞公害に悩まされている。</p> <p>アナグマは、サボーランドパーク始良や団地内の側溝に住み、夜中に出没し、糞が歩道のあちこちにあり、ウォーキングやジョギングを楽しまれている方々に不愉快な思いを与えている。</p> <p>また最近、西始良小学校近辺に出没し</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>たとの情報もある。年々、市内各地で鳥獣が増え、鳥獣被害に悩まされている。特に蒲生の西浦地区から加治木の雛場トンネルあたりまでは、たまに、多くのサルの大群を見かける。</p> <p>(1) 昨年度の捕獲隊の成果状況を示せ。 (2) 昨年度の作物被害状況を示せ。 (3) 以前は、タヌキがほとんどでアナグマは少なかったと思うが、アナグマが増えたわけを示せ。 (4) どうしたら早く処置できるか、今後の捕獲策を示せ。 (5) 捕獲した後の処置はどうなるのか。 (6) 今までに捕獲した鳥獣に発信機等を取り付け、何らかの調査を行ったことはあるのか。</p>	
5. 竹下 日出志	<p>1. 国土強靱化の取組みについて</p> <p>2. 子育て支援対策について</p>	<p>国土強靱化とは、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に対する取組みである。国土強靱化地域計画は、地域防災計画の指針となるもので、その対策は防災の範囲を超えて、まちづくり政策・産業政策も含めた総合的な内容とすることなどが特徴である。</p> <p>(1) 鹿児島県地域強靱化計画の概要および各自治体の策定状況を問う。 (2) 同地域計画策定に向けた本市の取組みを問う。</p> <p>B型肝炎ウイルスは、乳幼児期に感染すると持続感染状態（キャリア化）に陥りやすく、慢性肝炎や肝がんになる恐れがある。ワクチン接種により、体の中に免疫ができ、キャリア化を防ぐことができる。</p> <p>国が10月から同ワクチンを定期予防接種に追加したが、対象は、2016年</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 高齢者が暮らしやすい環境づくりについて</p> <p>4. 食品ロス削減に向けての取組みについて</p>	<p>4月1日以降に生まれた1歳未満の乳児となっている。</p> <p>(1) 2015年10月から2016年3月までに生まれた1歳児も助成対象とすることはできないか。</p> <p>(2) 東京都八王子市では、10月からB型肝炎ワクチンの予防接種を3歳未満まで公費助成し、自己負担を無料にしている。本市でも3歳児まで助成する考えはないか。</p> <p>高齢者の健康保持増進に役立つため、温泉保養券の交付や、はり・きゅう施術費助成事業がある。</p> <p>(1) 高齢者で交通弱者の方々は、タクシー利用券を望む声がある。温泉やはり・きゅう、タクシーの利用ができる「福祉クーポン券」として活用できないか。</p> <p>(2) 近隣の市と連携して、温泉施設やはり・きゅう施術院を利用できるように協議する考えはないか。</p> <p>食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」は家庭やスーパー、レストランなどあらゆるところで見受けられる。農林水産省によると、日本では年間2,797万トンの食品廃棄物が発生しており、このうちの632万トンが食品ロスと推計されている。</p> <p>(1) 家庭で余っている食品を募り、食料を必要としている方々に分けてあげる「フードドライブ運動」を普及啓発する考えはないか。</p> <p>(2) 災害に備えた食料の確保として、フードバンク等の活用を推進する考えはないか。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>